

Zoomセミナー用資料

国内主力企業の本決算発表が一巡！ ～注目テーマや銘柄を探る～

2026年5月21日

岡三証券 投資戦略部

日本株式戦略チーム

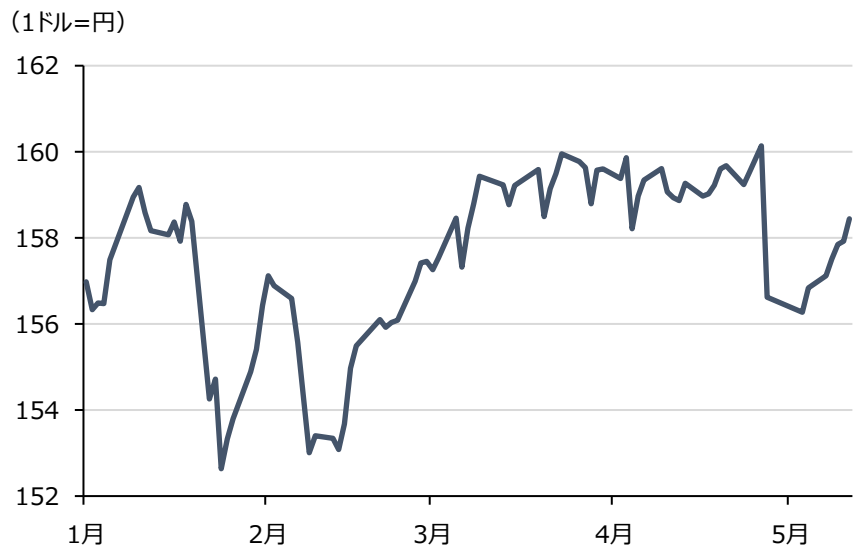
ストラテジスト

福嶋 祥歩

入間田 陸

26年のマーケットの動向を振り返る

ドル円相場の推移（日次）



出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在 ※各日17時の値

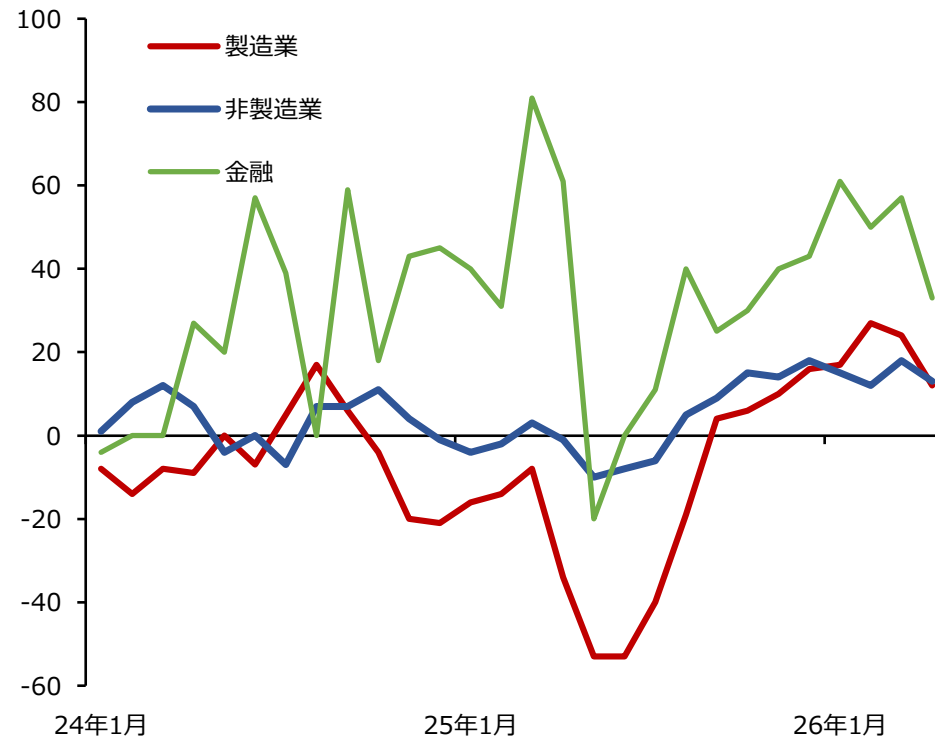
日銀短観（3月調査）
輸出企業の事業計画の前提となっている想定為替レート：

大企業・製造業 26年度 **1ドル=148.88円**

出所：日銀短観

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

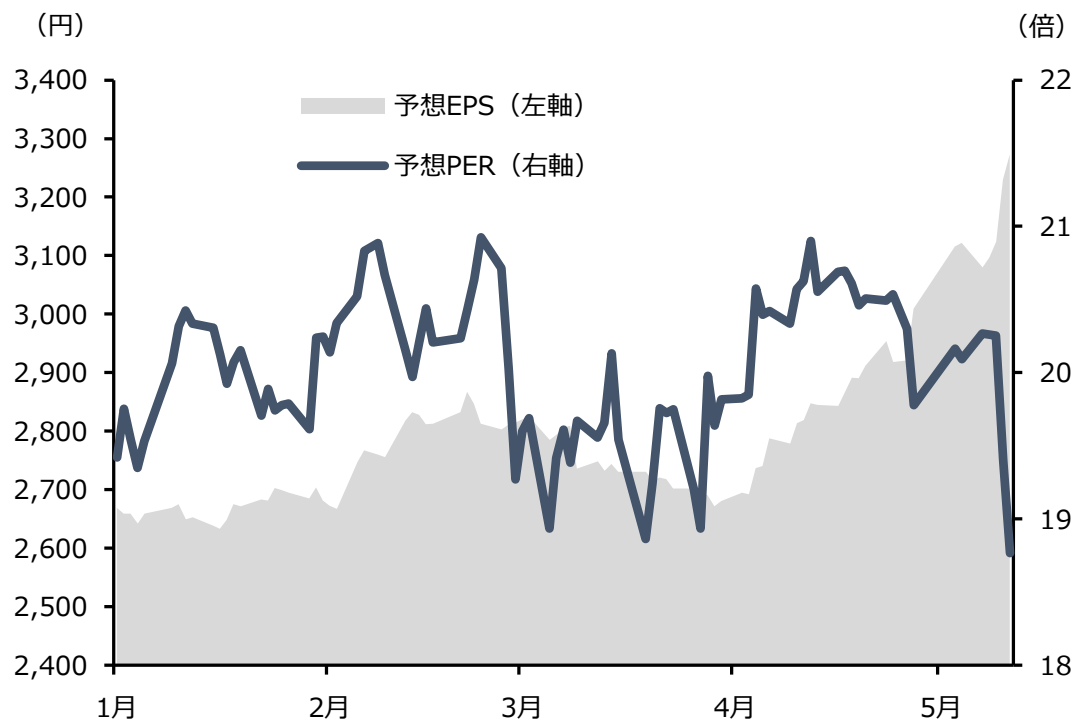
QUICKコンセンサスDI



出所：QUICK 作成：岡三証券 月次 直近は2026年4月分

業績成長期待から日経平均株価の予想EPSは3,200円台に

日経平均株価の予想EPSと予想PER（日次）



NT倍率の推移（日次）



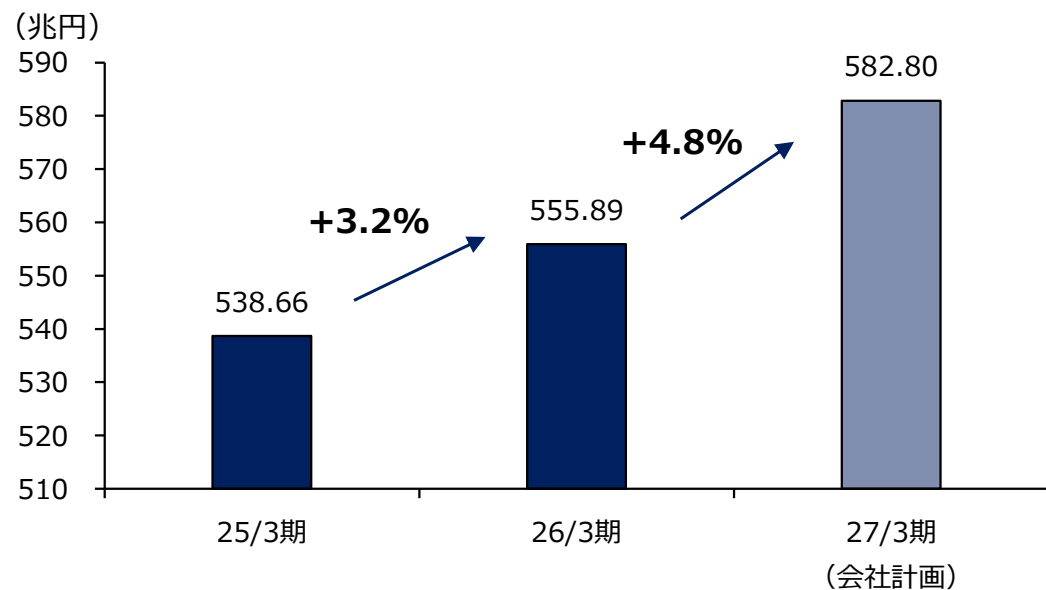
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

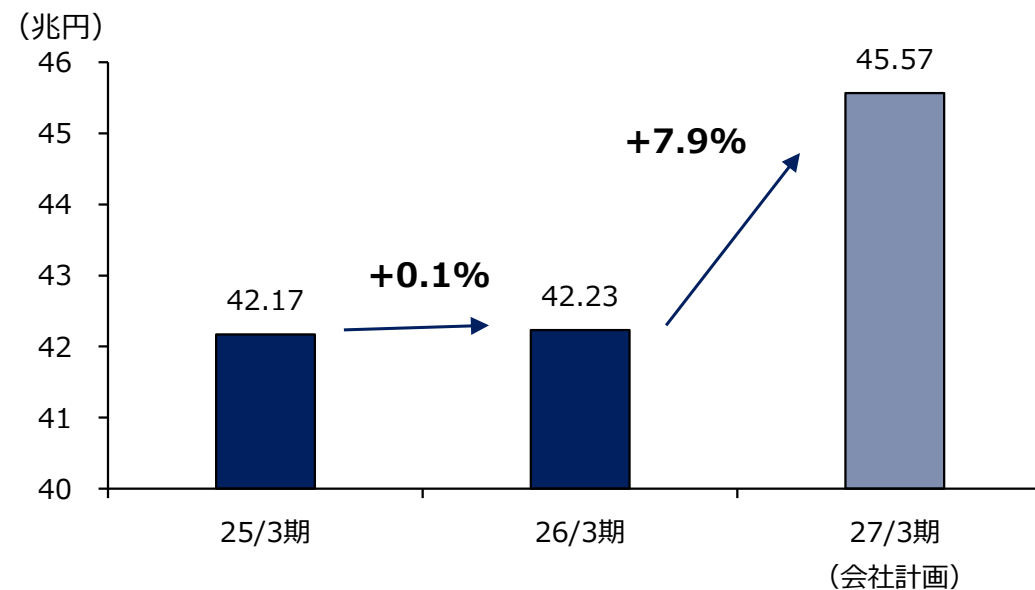
3月期決算の総括

TOPIX採用企業の27/3期の業績計画（前期比、会社計画）

売上高



営業利益



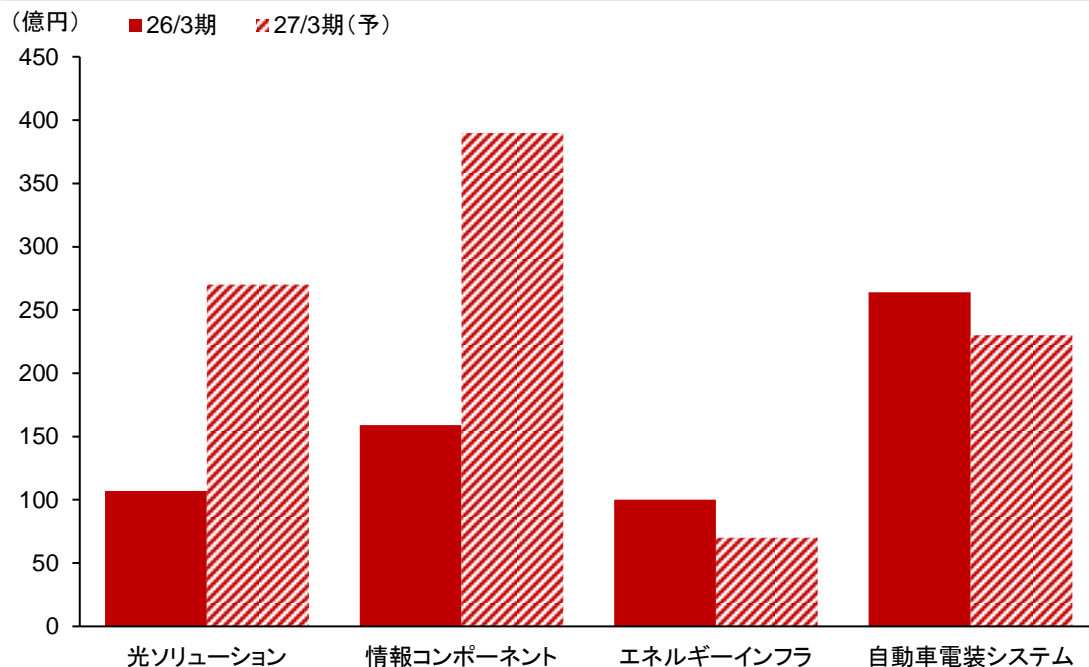
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在
※25/3期から継続してデータが取得可能な943社（ソフトバンクG除く）が対象

古河電気工業 (5801 プライム)

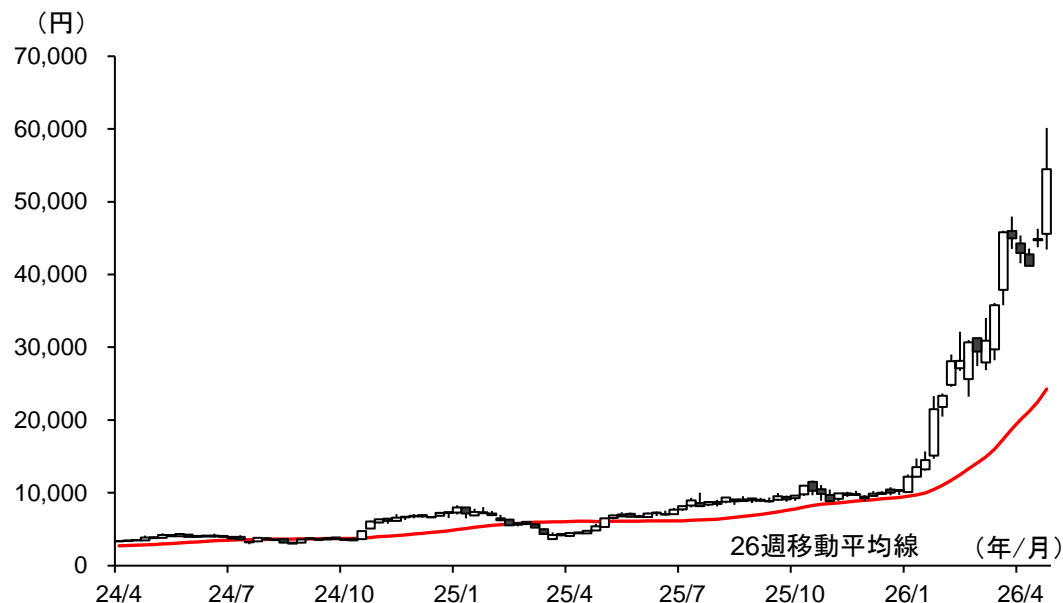
Point !

- 電線大手3社の一角。自動車電装部品のほか、通信用・電力用ケーブルなどを手掛ける
- 26/3期は前期比9%増収、同36%営業増益。26/3期を最終年度とする中計財務目標を全て達成
- 27/3期会社計画は前期比12%増収、同49%営業増益を見込む。「光」と「情報」セグメントを軸とした高成長へ

▼主なセグメント別営業利益の推移



▼株価チャート (週足)



出所：会社資料 作成：岡三証券
 ※27/3期(予)は会社計画、5月12日現在
 ※27/3期より報告セグメントを変更、26/3期は遡及修正値 ※メタルソリューション、サービス・開発等、連結消去は考慮せず
 最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

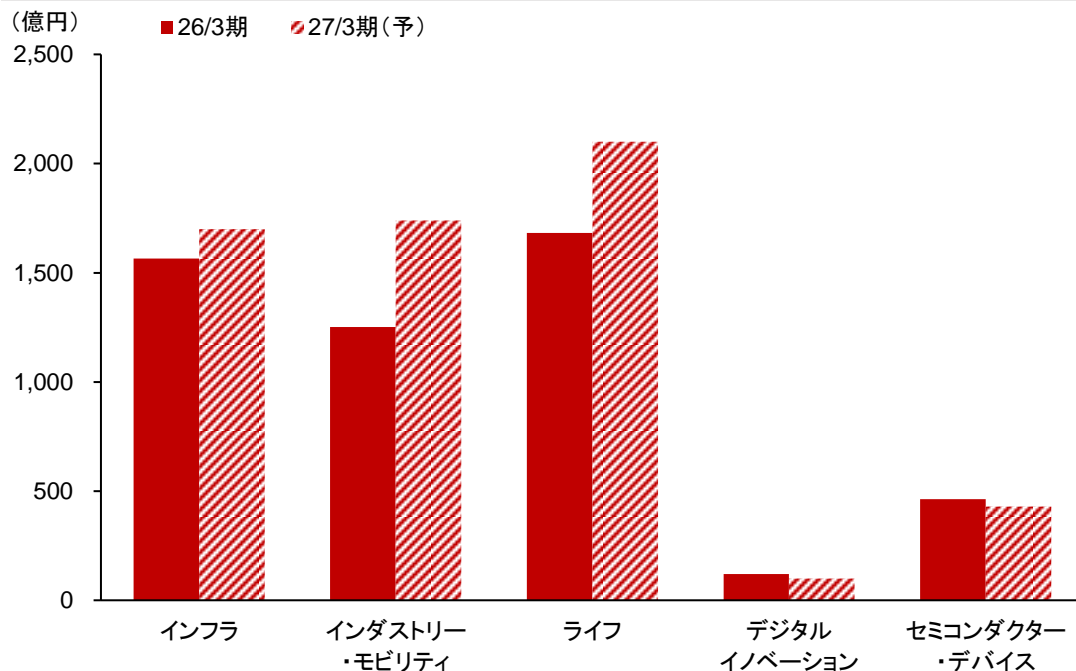
三菱電機 (6503 プライム)

Point !

- 総合電機大手。近年は「データセンター」、「エネルギー」、「防衛」、「空調」など、材料が豊富
- 27/3期会社計画の調整後営業利益*は前期比18%増益を見込み、過去最高益となる見通し
- 注力する防衛事業では、前期末時点の受注残高が約1.3兆円に到達

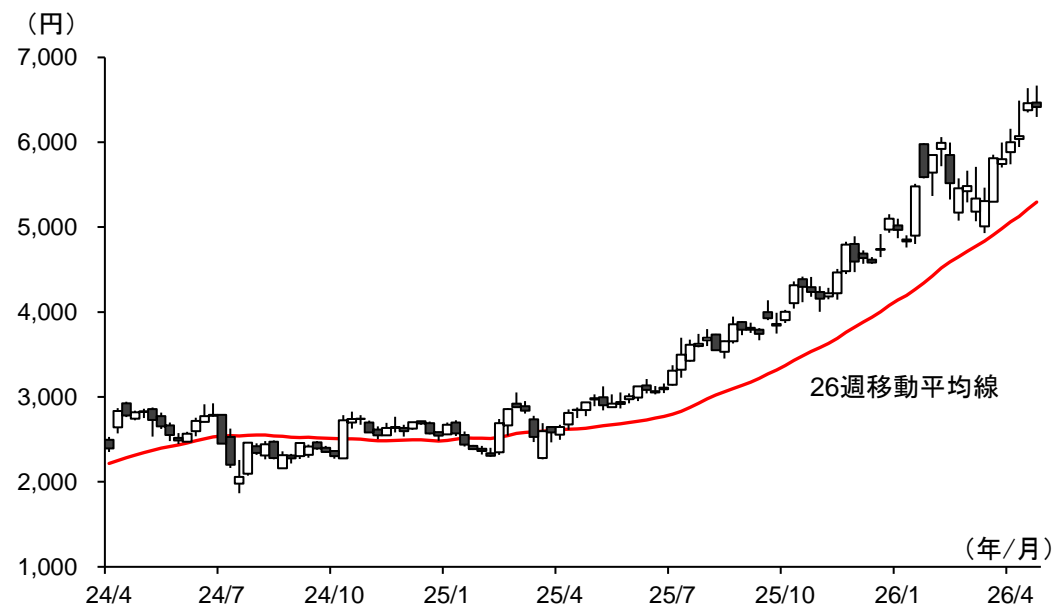
*調整後営業利益は、事業・資産売却損益、減損損失等を控除して算出

▼主な部門別調整後営業利益の推移



出所：会社資料 作成：岡三証券
※27/3期(予)は会社計画、4月28日現在

▼株価チャート (週足)

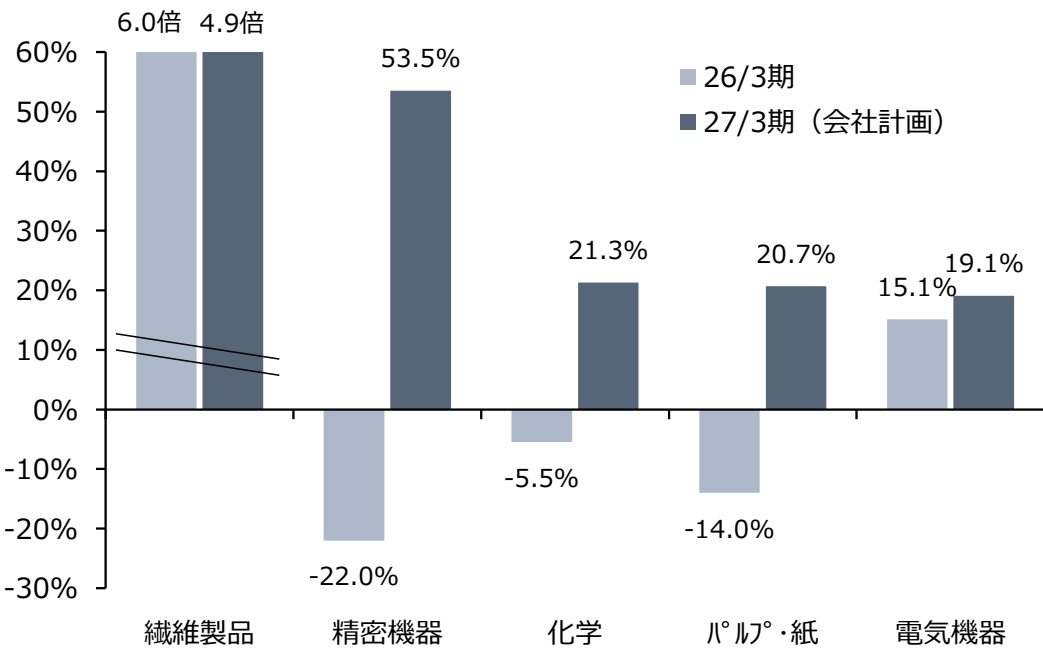


出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

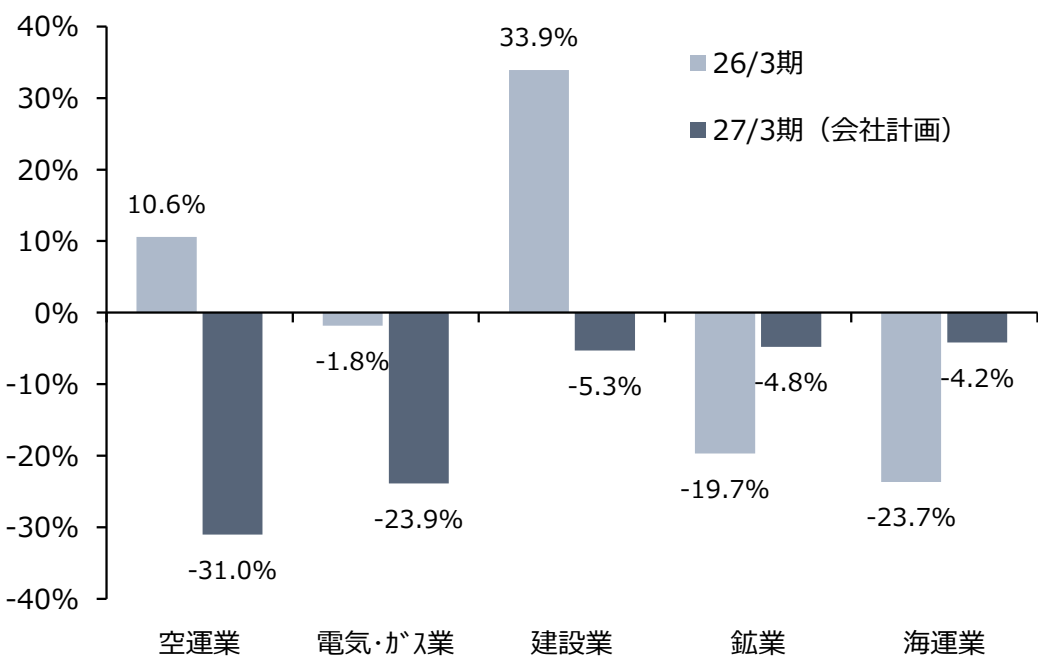
精密機器や化学は反発へ。電機の成長が続く

東証33業種別：TOPIX採用企業の27/3期営業利益計画（前期比、会社計画）

上位5業種



下位5業種



出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在
 ※25/3期から継続してデータが取得可能な943社（ソフトバンクG除く）が対象

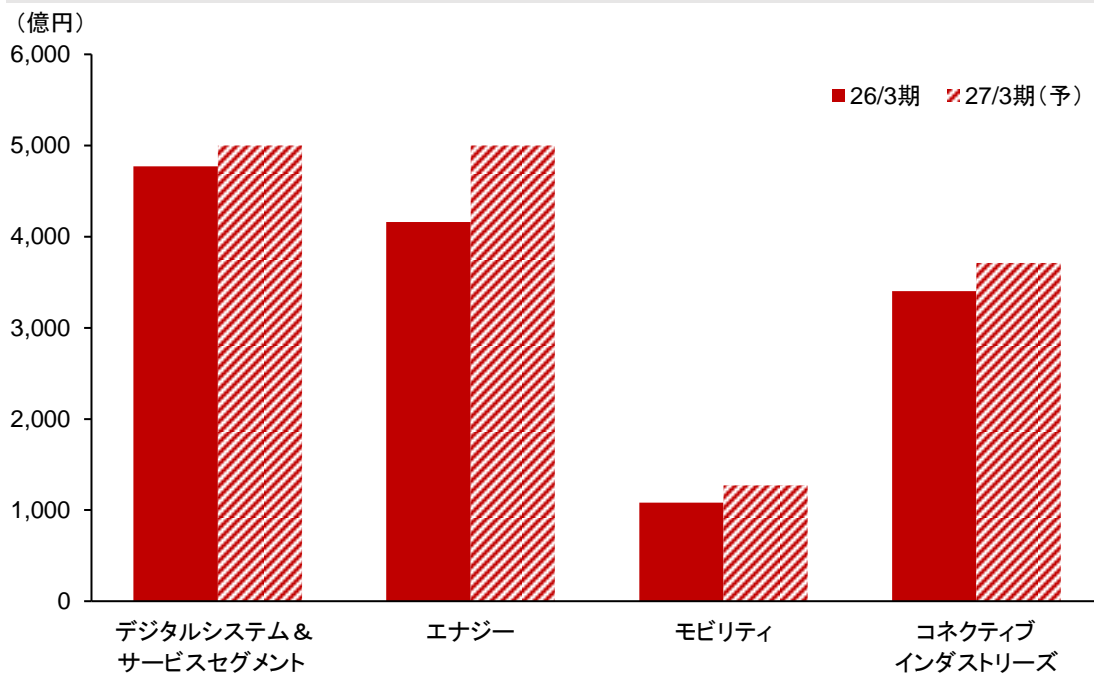
日立製作所（6501 プライム）

Point !

- 27/3期会社計画は前期比5%増収、Adjusted EBITA*は同8%増益へ
- 27/3期のLumadaが売上全体に占める割合は44%へ（26/3期は同40%）
- HMAX（社会インフラ向けAIソリューション）に注目

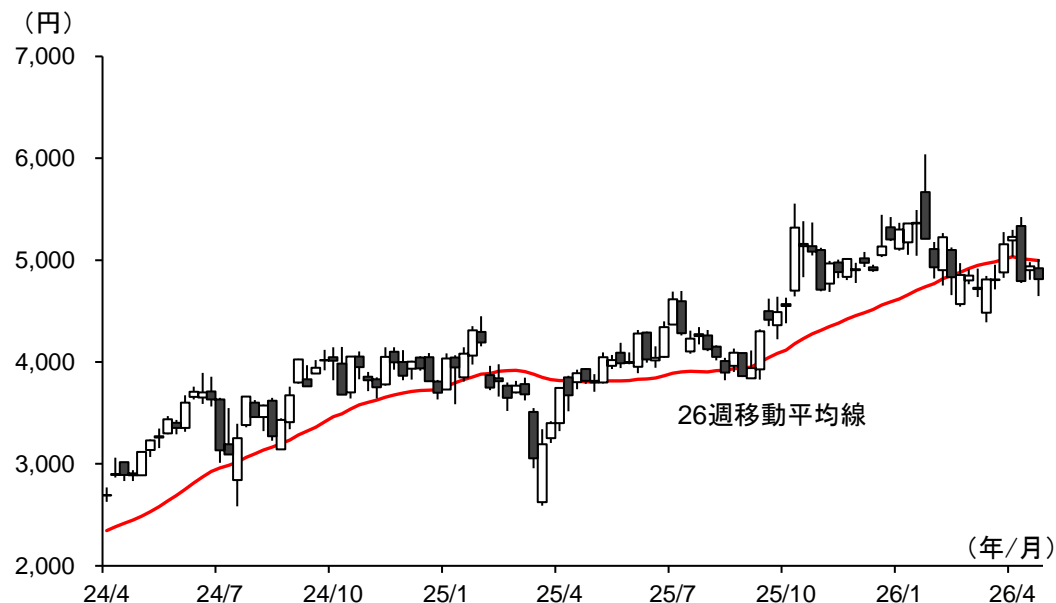
*Adjusted EBITAは、調整後営業利益に、企業結合により認識した無形資産等の償却費を足し戻して算出
 ※調整後営業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費の額を減算して算出

▼主なセグメント別Adjusted EBITA*の推移



出所：会社資料 作成：岡三証券
 ※27/3期より報告セグメントを一部変更、26/3期は遡及修正値 ※27/3期（予）は会社計画、4月27日現在

▼株価チャート（週足）



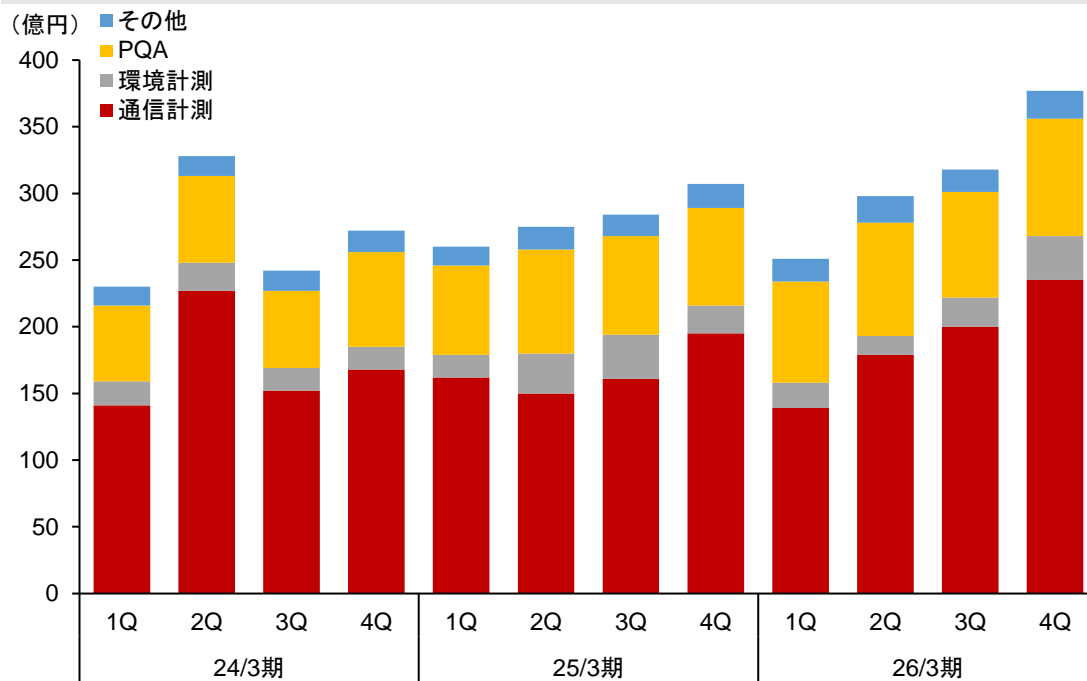
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

アンリツ (6754 プライム)

Point !

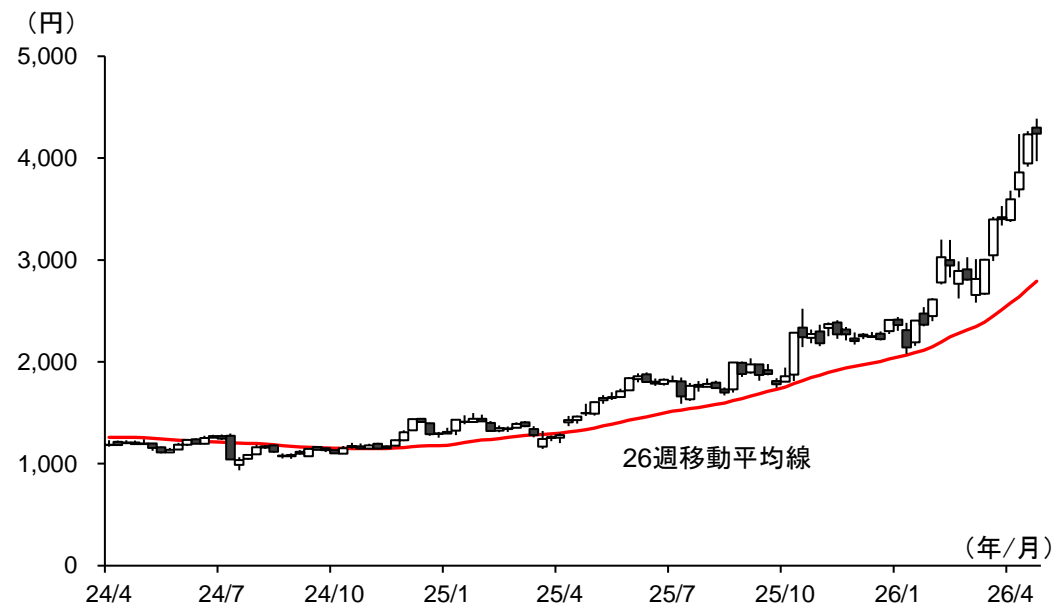
- 通信計測器大手。無線基地局の建設・保守に用いるテストでは世界トップクラスの市場ポジション
- 27/3期は前期比35%営業増益へ。通信計測が業績をけん引する見通し
- データセンターにおける光トランシーバー需要は中期的に拡大する見通し。通信計測器の需要拡大に注目

▼セグメント別受注高の推移 (四半期)



出所：会社資料 作成：岡三証券

▼株価チャート (週足)



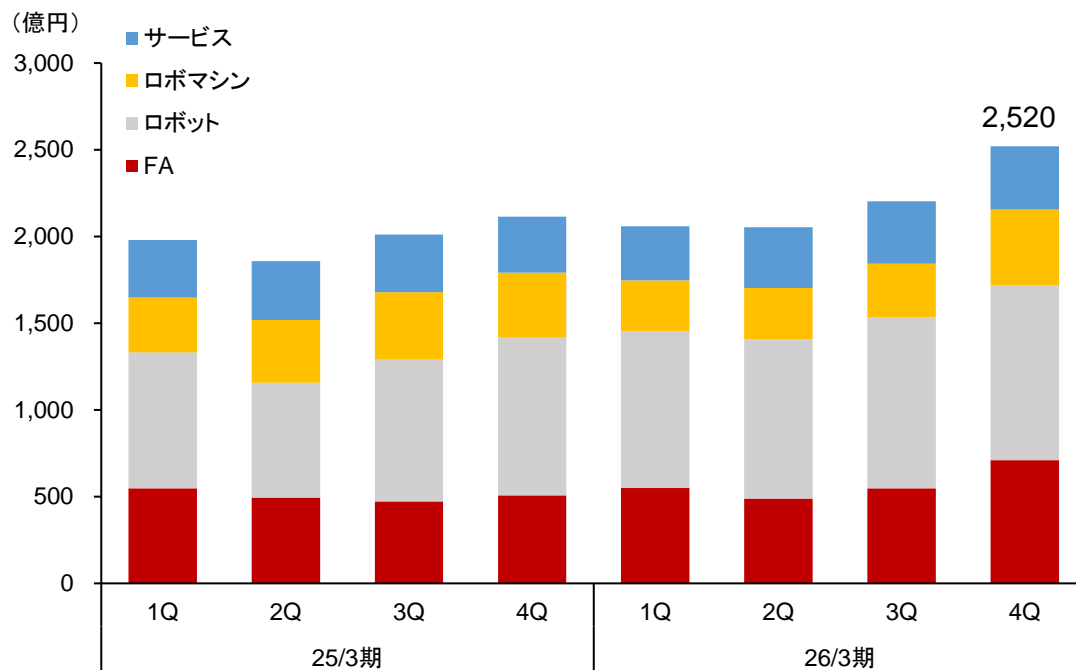
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

ファナック（6954 プライム）

Point !

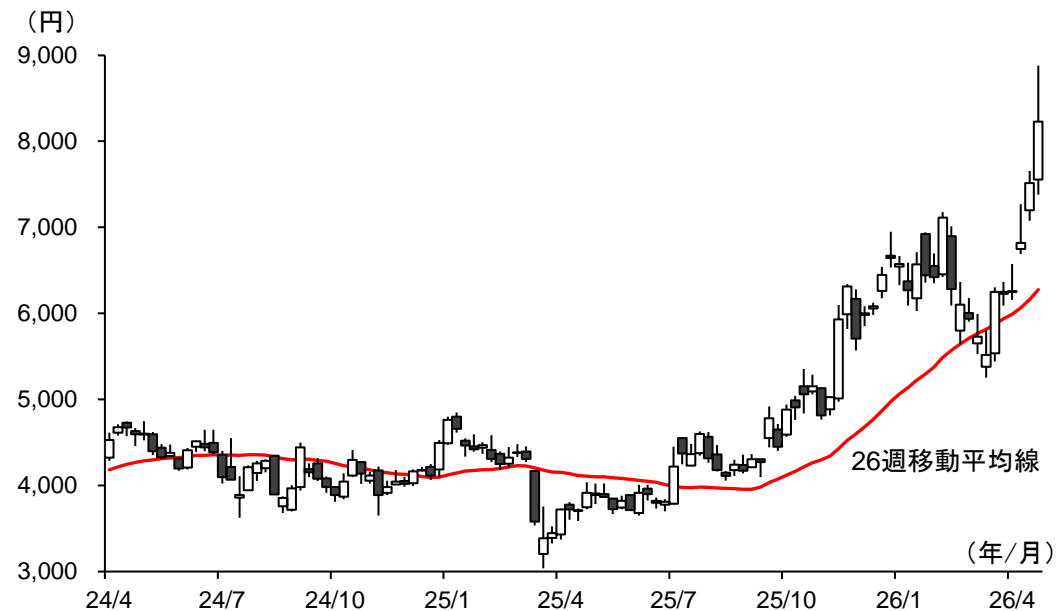
- 工作機械などに搭載されるNC（数値制御）装置で世界首位
- 26/3期4Q（1-3月）はFA部門やロボット部門を中心に受注好調
- 産業用ロボットなどに注目。エヌビディアやアルファベット各々と取り組むフィジカルAI分野での業績成長へ

▼部門別受注高（四半期）



出所：会社資料 作成：岡三証券

▼株価チャート（週足）



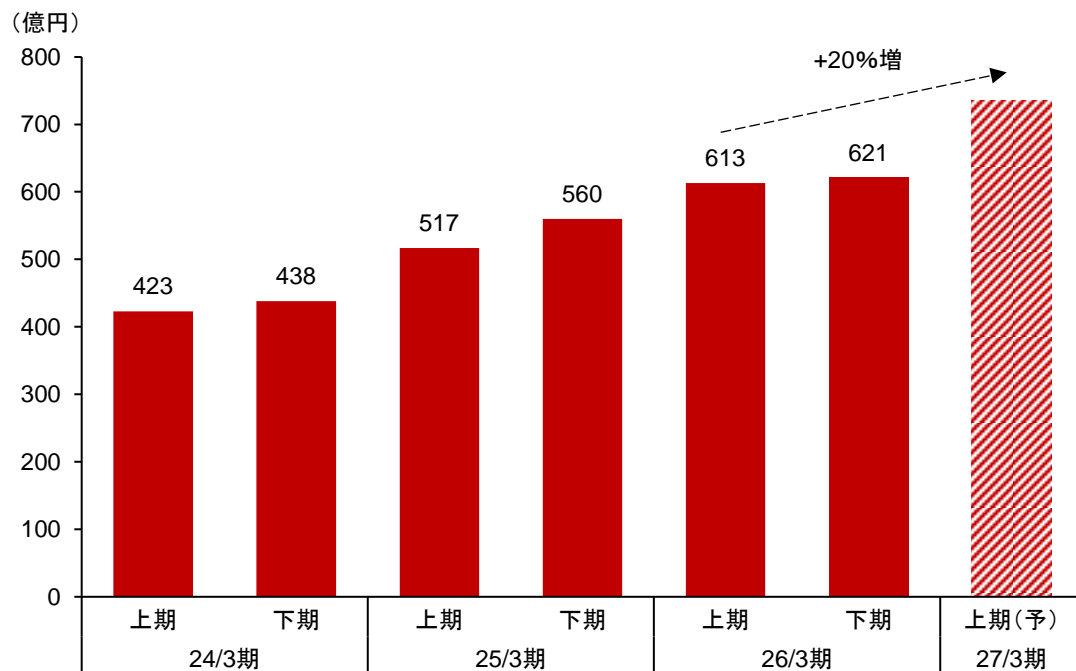
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

東京精密 (7729 プライム)

Point !

- 「精密に測る力」に強み。プローバやグラインダなどを手掛ける半導体製造装置部門が利益の大半を占める
- 27/3期会社計画は前期比19%営業増益へ。高付加価値製品比率の増加が利益を押し上げる見通し
- ハイブリッドボンディング向けグラインダの新工場が竣工。27/3期の下期以降に受注高への寄与が見込まれる

▼半導体製造装置部門の受注高推移 (半期)



出所：会社資料 作成：岡三証券
 ※27/3期上期(予)の伸び率は会社計画、5月13日現在

▼株価チャート (週足)



出所：QUICK 作成：岡三証券 5月15日現在

AI・データセンター関連以外では、テルモや富士フイルムHDに注目

主な注目銘柄

決算期	コード	名称	内容
3月期	3099	ミツコシセタン	27/3期は営業利益は4期連続で過去最高へ。海外顧客の売り上げ回復や経費の構造改革が寄与
	4543	テルモ	27/3期はカテーテルなどの新製品投入で成長継続へ
	4901	富士フイルムHD	27/3期はCDMO（医薬品の開発製造受託）や半導体材料への大型投資一巡で株主還元余地
	6098	リクルートHD	27/3期は主力の米求人検索サイト「インディード」がけん引へ。米国では求人数が減少傾向も、有料の求人広告プランが奏功し、収益化が加速へ
12月期	S7716	ナカニシ	26/12期1Qは歯科治療機器などを製造。歯科治療や外科手術向けドリルが好調
	7936	アシックス	26/12期1Qは主力のスニーカーに加え、高級ブランド「オニツカタイガー」も好調が続く。オニツカタイガー事業の利益率は39.6%と、前年同期から3.2%ポイント上昇した

出所：各種資料 作成：岡三証券 Sはスタンダード

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

【手数料およびリスクについての重要な注意事項】

- ・金融商品の購入には手数料等その他の費用がかかります。
- ・金融商品にはリスク(元本損失を生じるおそれ)があります。
- ・取引や商品ごとに手数料等及びリスクが異なりますので、詳細は右記QRコードのリンク先「手数料およびリスクについての重要な注意事項」をよくご確認ください。本QRコード先の手数料は閲覧時点の最新内容であり、本レポート作成時点の条件とは異なる場合があります。リスク・手数料等を記載した書面をご請求される場合、当社コンタクトセンター(☎0120-390603)までお問い合わせ下さい。



<https://www.okasan.co.jp/disclaimer.html>

【日本以外の地域における本レポートの配布】

・香港: 本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

・米国: 本レポートの作成者は、米国の証券業界の自主規制機関(FINRA)にリサーチ・アナリストとして登録されておらず、リサーチレポートの作成およびアナリストの独立性に関する米国規制の適用を受けません。第三者による本調査レポートは、1934年証券取引所法規則第15a-6条(改正を含む)に定められる主要米国機関投資家(Major US Institutional Investors)に対してのみ、米国の証券会社であるWedbush Securities Inc.(1934年証券取引所法第15条に基づき登録、以下「Wedbush」といいます。)により、米国内で配布されます。Wedbushによる米国内の本レポート配布に関してはWedbushが全責任を負うものといたします。本レポートは、いずれかの管轄区域内の法令等によりWedbushが本レポートの提供を禁止または制限されている投資家を対象としたものではありません。本レポートを閲覧する前に、Wedbushが関連法令・規制に基づいてお客様に投資関連資料を提供することが許可されている旨をご自身でご確認ください。本レポートを受領・閲覧し、記載されている証券の取引を希望する米国内の投資家は全て、本レポートの発行者ではなく、以下の者と取引を行う必要があります: Wedbush Securities Inc., 1000 Wilshire Blvd, Los Angeles, California 90017, 電話番号+1(646)604-4232。

・その他の地域: 本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

(2026年5月改定)

取り扱い金融商品に関する留意事項

●商号等:岡三証券株式会社 岡三オンライン証券カンパニー/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業

●加入協会:日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●リスク:【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引および株価指数証拠金取引(以下、「株価指数CFD」)では、投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、株価指数CFDは対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場投資信託(ETF)および指数連動証券(ETN)のうち、レバレッジ型・インバース型の価格の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資効果が得られないおそれがあります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数CFDでは建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【FX】外国為替証拠金取引(以下、「FX」)は預託した証拠金の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金:【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【株価指数CFD】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】個人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×4%以上の額とします。一部レバレッジコースの選択ができない場合があります。法人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×金融先物取引業協会が公表する数値とします。発注証拠金に対して、取引所FXでは、1取引単位(1万又は10万通貨)、店頭FXでは、1取引単位(1,000通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要(表示は全て税込・上限金額):【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。ワンショットの上限手数料は現物取引で3,300円、信用取引で1,320円。定額プランの手数は現物取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,430円、以降約定代金100万円ごとに550円加算、また、信用取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,100円、以降約定代金100万円ごとに330円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株に準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.1%(最低手数料5,500円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用等の諸費用が必要です。売買にあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【株価指数CFD】取引手数料は、セルフコースは1枚につき330円、サポートコースは1枚につき3,300円です。【投資信託】換金時には株式投信の場合、基準価額に対して最大0.50%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。公社債投信の場合、換金手数料として1万円につき最大110円をご負担いただきます。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.42%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FXの取引手数料は、セルフコースはくりっく365が無料、くりっく365ラージが1枚につき1,018円、サポートコースはくりっく365が1枚につき1,100円、くりっく365ラージが1枚につき11,000円です。店頭FXの取引手数料は無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項をお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。

(2026年4月改定)